第４５回相模原市教育研究発表大会の報告

平成２３年８月３日（水）に「ともに見つめ　ともに創る子どもの未来」をテーマに、第４５回教育研究発表大会を開催しました。

午前中は、市民会館ホールにて全体会と記念講演会を行い、午後は、総合学習センター周辺１０会場で分科会を行いました。全体会・記念講演会には、1,201 人、分科会には 1,315 人のご参加をいただき大変な盛況ぶりでした。

◆◆◆　全 体 会　◆◆◆

加山市長をはじめ、市内の教育に携わる来賓の方々をお迎えして全体会を開催しました。

主催者を代表して岡本教育長から、日頃から本市の教育に尽力をされている方々への敬意と感謝の意と、この大会を通じて様々な教育分野の方々の連携・協力がさらに深まり、さがみはら教育の発展につながるよう願っていますとの挨拶がありました。

◆◆◆　記 念 講 演 会　◆◆◆

講師に戸田奈津子氏(映画字幕翻訳者)をお迎えし、「『好き』こそ道を切り開く」というテーマで、ご自身の現在に至るまでの道のりや、ハリウッドスターたちのエピソード等をお話していただきました。

戸田氏は「『好き』というモチベーションに勝るものはなく、『好き』なものを嫌いにならないように、楽しい気分を続かせていくことが大切」と話し、大スターの子ども時代の話から、「親や周囲が心配するような子どもの行動こそ素晴らしい個性の種かもしれない」ので、「どうか子どもの個性をつまないで、個性を伸ばす教育を」と会場にいる多くの教育関係者に呼びかけていらっしゃいました。また、ご自身は“結果的に”英語を話せるようになったと語り、まずは「日本語」と「読書と文章を書くこと」、さらに「専門分野を持つこと」が大切だと話されていました。夢をあきらめず、現実的に追い続けて実現されたお話は大変興味深く、全てを懸けてきたと言い切れる『情熱』は、多くの参加者の心にも火を灯したのではないでしょうか。

◆◆◆　分 科 会　◆◆◆

午後はテーマ別１０会場に分かれ、発表と協議が行われました。市内公立小中学校の教職員をはじめ、保育園や幼稚園、高校、市民の方々などたくさんの方々のご参加をいただきました。どの発表も子どもたちの健やかな成長を目指し、積極的に取り組まれた研究・研修の成果や、教育実践の報告でした。発表をもとに参加された方々で協議を行うなかで、様々な教育分野の方が交流しあい、お互いの役割や活動を理解し、連携・協力を深める場となりました。

《分科会参加者からの感想》

幼・保・小の先生、保護者が一同に集まり、情報交換できるこのような機会はとても重要だと思う。地域ごとに広がっていくことを期待したい。